

# 2018年度(平成30年度)「自ら考え学ぶ授業づくり」アクションプラン

〈学校用〉

校番(3)番 福山市立 城南 中学校

## 1 育成する力(21世紀型“スキル&倫理観”)

育成する力(21世紀型“スキル&倫理観”)	問題解決力	コミュニケーション力	協調性	自律性
めざす子ども像 (21世紀型“スキル&倫理観”を身に付けた生徒の姿)	①課題や問題の解決に向けて、自分の考えを他者と比較・関連づけするなどして理由を明確にして書くことができる。 ②予想をもとに解決に向けて実際に考動することができる。	①根拠を持って説明し、自他の考えを評価し、課題解決に向けて互いの考えを生かし合う。 ②他者と関わり合う中でおりあいをつけることができる。	①集団活動において、他者を認め、協力したり譲りあったり学び合うことで目標を達成できる。 ②自他を敬い、励まし合い高め合いながら考動できる。	①やるべきことに対しより高い目標や計画を立て、やり抜くことができる。 ②自己の決定に責任を持ち、より高い目標に向かって着実にやり抜く。

## 2 授業の現状

城南中校区では「書く」「伝える」ことを中心に授業づくりを行っている。生徒はペアトークやグループでの話し合いに積極的に参加し話すことができる場面が多くなってきた。しかし、生徒同士で質問したり、新たな疑問について深めたりすることが苦手である。

転換

## 3 めざす授業の姿

- ①「なぜだろう?・どうやるのだろうか?」という疑問や課題のある授業導入→【何を学ぶか・個】
- ②集団やペアによる協働的な学びのある授業→【どのように学ぶか・集団】
- ③得られた知識や技能を活用する場面のある授業→【何ができるようになるか・個】

## 4 めざす授業に向けた取組の具体

4月からの取組	8月末の状況	9月からの取組	12月末の状況	1月からの取組	2月末の状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の導入,授業の導入で「なぜだろう」など課題発見ができるよう工夫する。</li> <li>・ペアトークやグループ活動を授業で設定し,発言したり書いたりできるよう工夫する。</li> <li>・学んできたことをいかせるよう単元終わりや定期試験等で実践できるよう全教科で工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「生徒が課題を自ら見つけられるような指導を工夫した」71.4%肯定評価。</li> <li>・「積極的に書けるような指導を工夫した」91.5%肯定評価。</li> <li>・「これまでに学習した内容を活用するよう指導を工夫した」88.9%肯定評価</li> <li>→校内研修で定期試験の分析を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室内で出る生徒の発言やつぶやきから「疑問」や「課題」を自ら見つけられる工夫をする。</li> <li>・ペアトークやグループ活動で対話するなかでできた「わからない」を大切にする。</li> <li>・授業や活動を通して学んだ知識をつなげていく指導を工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「生徒が課題を自ら見つけられるような指導を工夫した」83.8%肯定評価。</li> <li>・「友だちと話し合うなどして、自分の考えを深めたり、広げたりしている」生徒の肯定評価85.7%。</li> <li>・定期試験において各教科の課題点を整理し個への対応を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「私は、自分には良いところがあると思う」生徒の肯定評価76.2%</li> <li>→生徒同士の対話を生むために、発表者はクラス全体に体を向ける。聴く方は発表者に体を向ける。しっかり意見を言える、聴けるクラスづくりを行う。対話を行うことで考えを深めたり、自分に自信を持ったりできる生徒を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「私は、自分には良いところがあると思う」77.2%</li> <li>・「よさが認められている」73.5%</li> <li>・「自分の考えが認められている」77.2%(数値は三学期肯定評価)</li> <li>話し合う活動や書く活動を通して自分の考えを深めたり広げたりする生徒が着実に増えてきている(85.7%)。課題は、生徒に対して何のために書いたり話したりするのかを明確にする必要がある。</li> </ul>

## 5 取組の結果等

全国学力・学習状況調査(%)平成30年度 「基礎・基本」定着状況調査(%)平成29年度 体力づくり改善計画【広島県体力・運動能力調査から】

	A問題	B問題
国語	73(-3.0)	55(-6.0)
数学	61(-5.0)	39(-7.0)
理科	62(-4.0)	

( )は県平均との差

	タイプ I	タイプ II
国語	69.8(-0.6)	58.9(-5.1)
数学	68.4(-1.3)	49.9(-7.5)
理科	50.0(-4.5)	40.3(-5.0)
英語	72.6(-2.1)	53.3(-6.6)

県平均以上項目数	前回目標値に対する結果	重点課題	改善する取組内容・方法
(男子) 8/24	男女とも1年生以外シャトルランの目標値を超えることができなかった。3年生男子は目標値を全て超えることができたが、1、2年生男子は全ての項目の目標値を超えることができなかった。女子は50m走を3学年とも目標値を超えることができた。	① 男女の握力 ② 男子は全身持久力 ③ 女子は50m走	① 部活動顧問との連携をいっそう深めるトレーニング ② 一人ひとりに前年度の結果を示し、生徒自らが目標を設定し主体的に取組むように工夫する ③ 授業で効果的に補強運動 ④ くねくね体操、がりがが体操
(女子) 12/24			
目標値	<ul style="list-style-type: none"> <li>○男女とも握力を県及び全国平均を上回る。(男子1年25kg・2年30kg・3年36kg, 女子1年26kg・2年26kg・3年26kg)</li> <li>○男子は20mシャトルランを平均及び全国平均を上回る。(1年生75・2年生・91回・3年生99回)</li> <li>○女子は50m走を平均及び全国平均を上回る。(女子1年生8.90・2年生8.60・3年生8.90)</li> </ul>		

「基礎・基本」定着状況調査(生徒質問紙調査)(%)平成30年度

内容	国語		数学		理科		英語	
	よく	やや	よく	やや	よく	やや	よく	やや
授業が分かる	49.3	39.6	42.7	33.5	45.4	32.2	40.1	32.6
学校が楽しい	よく(50.7)		やや(38.8)					

暴力行為発生率・不登校生徒出現率(%) (2)月末現在

暴力行為	0.3	不登校	7.0
------	-----	-----	-----

福山100NEN教育アンケート[対象:授業者](%)

質問項目	よく	当てはまる
仕事にやりがいを感じている	5.7	17.1
仕事に充実感がある	5.7	11.4

児童生徒アンケート(%) (2)月実施

質問項目	当てはまる	少し
授業で考えることが面白い	37.8	41.2
自分の考えは、認められている	32.0	45.2